

キャラクター名
ノイン（・W {ヴェルデ} ・ツェフィーア）

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	傭兵	カヴァー	ボディガード
	モルフェウス					
オプション	ハヌマーン		年齢	20 (推定)	性別	♀
覚醒	素体	衝動	殺戮	初期侵食率	40 %	
出自	天涯孤独	経験	裏切り	邂逅	同行者 (エア)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	1	0			3	行動値	11
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	11
精神	2	0	0			2	戦闘移動	16
社会	1	0	0			1	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	2	
運転:多脚戦車	2		芸術:			知識:			情報:軍事	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
乱舞の刃	白兵	3r+2	2	12		シナ1獅子奮迅と一緒に使用でシーン視界範囲攻撃に
スピスタ	白兵	6r+8		31		シーン1 HP-1D
スピスタ100	白兵	7r+11		35		シーン1 HP-1D
全カスピスタ100	白兵	6r+8		65		シナ1 HP-1D 一度だけ回数切れエフェクト再起

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
メモリー:元飼主 (H・W)	
ウェポンケース	
コネ:ハッカー	
コネ:要人への貸し	
ウィンドスカーフ	
エンブレム:アフターライフ⇒FH共通	
エンブレム:強制起動者	
思い出の一品 (ドッグタグ)	
乱舞の刃 (青月光)	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
神速の担い手	P	N		
エア	P	友情	N	疎外感
戦友……?	P	感服	N	敵愾心
	P		N	
	P		N	
	P		N	

最大財産P: 6 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー			モル		
効果: ハヌ								
スピードスター	1	5	セットアップ	至近	自身	自動	Dシーン1	
効果: シーン行動値を次の攻撃力にプラス。R中リアクション不可に。								
原初の黄:加速装置	2	2	セットアップ	至近	自身	自動		
効果: 基+3 行動値+LV×4								
原初の白:戦いの予感	2	4	セットアップ	至近	自身	自動	80↑	
効果: 基+3 シナ1行動値×10								
ソードマスター	2	3	セットアップ	至近	単体	自動		
効果: 対象の装備武器一つ選択。R中その武器攻撃による達成値+LV×3								
電光石火	2	3	メジャー&リアクション			対決		
効果: 【肉体】【感覚】ダイスlv+1個 HP-1d								
獅子奮迅	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	シナLV	
効果: シナLV回 白兵を範囲選択化								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

〈はい出ましたクソ長設定のお時間です〉
 設定的にはだいたいエアちゃんルート後。そこに20年前のレネゲイド拡散事件が関わった、ダブクロ版C4-621って感じ(※現在のノインから見ると最後は数年前の出来事なので、そのあたりの視点は要補正)。簡略化すると、
 ・20年前のレネゲイド拡散事件 →「アイビスの火」、発掘者のライアン・フィンダー博士の助手 →ウォルターパッパ(アイビスの火は正確に言えば、実は拡散直後に大規模なレネゲイド暴走が起きて大破壊もたらされ、割とマジヤバなくらい死傷者が出た事件{俺が勝手に生やした、勿論秘匿されてる}で、それにパッパが人為的に関わっていたうえにFHに技術提供までしちゃってた、っていう勝手に生やしていいのかわからないくらいヤバみ設定)
 ・エア →拡散事件直後くらいに発生した、確固とした依り代を持たないE Xレネゲイド。そのままレネゲイドの変異波形とやらで、自我だけずっとあった。
 ・C4-621 →戦災孤児F Hチルドレン。↑のクソデカ事件の直前に産まれていて、なおかつ実は巻き込まれた被害者の唯一の生き残りだったり。
 ・ウォルター →ダブクロ版「アイビスの火」から始まった種々の悲劇を終わらせるために活動。遺跡(スッラポイント)を封印するとともに、せめてこれ以上の被害は阻止すべしとキャリアの一般人やオヴァドを除いた残存レネゲイドを完全消滅させることを画策。
 ・スッラポイント調査時に案の定高濃度がレネゲイドがばーん! 超巨大ジャームがズドン!
 仮死状態になった621にエアが共鳴して(元々その地域のレネゲイドに感染していたのもあって)撃退。以来スカーフにて同様。
 ・再び高レネゲイド帯と化したスッラポイントを巡っておもしろー男とかルビコニアデスジャームと戯れながら621の感情もウォルターの計画も広がリング
 ・最終決戦はレネゲイドウイルスだけを殺す機械かよ(対抗種)を大気圏に向けて散布する任務を最期に託して消えたはずのウォルターと、共生の道を選んで反抗期に突入した621とが大気圏ギリギリ宇宙空間での10ラウンドバトル。
 ・あとはエンディングどおり。アンチレネゲイド散布装置は破壊され、C4-621は「任務失敗」の末M I A認定となり、「死んだ」。後に残ったのは飼い主を失った野良犬と、その傍らに寄り添う姿なき友だけだった――。
 ……FHを去り、自由の身となった“名無しの彼女”が始めにしたことは、自身に対し「一つの任務」を課すことだった。
 『「信じた道を進んでいる」と、自分自身が心からそう信じ続けられるよう、世界を見据え続ける。この力は、そのためにこそ使う』
 それこそが、信じた者に裏切られ、信じ続けた道を否定され……それでもなお、「彼女が信じた道である」ことを信じてくれた、一人の恩師に対する手向けにもなる。
 私はそう、“想った”。